

創作・七言絶句

平成二十二年度の加志々中学校第二学年が作った七言絶句です。
李白の「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」をもとにして作成しています。

兄都 司

兄弟西島去对馬
桜舞四月下福岡
我兄遂都会出兵
惟待兄一年歲月

兄弟西の島对馬を辞し
桜舞う四月福岡に下る
我が兄遂に都会に出兵し
惟待つ兄は一年の歳月を

安望 文来

文来西辞原野家
雪風一月行福岡
福岡安売大混雑
故人士産買急帰

文来西の方原野家を辞し
雪風一月福岡に行く
福岡安売^{ハゲン}にて大混雑し
故人に土産を買いて
急ぎ帰る

春忙 俊介

我々西辞加志々
煙花三月下豊玉
我々移動加中荷
来年春忙知多少

我々西の方加志々を辞し
煙花三月豊玉に下る
我々移動す加中の荷を
来年春忙しきこと知りぬ
多少ぞ

友 亜須華

故人東辞太宰府
寒十二月下東南
我友別告不出来
夢中故人思出蘇

故人東の方太宰府を辞し
寒い十二月に東南に下る
我友に別れを告げること
できず
夢の中で故人との思い出
が蘇る

万松院宗義智豊玉之送 毅児

知人南辞万松院
煙花三月上豊玉
飛行機雲碧空尽
惟見白雲空吸無

知人南の方万松院を辞し
煙花三月豊玉に上る
飛行機雲は碧空に尽き
惟だ見る白雲の空に吸われ
無くなるを

★故人：旧友